



今 教育長(右)

夕張市教育委員会では、12年余にわたって教育長を務めてこられた小林信男さんが退職された後任として、昨年12月26日付けで夕張高校長の今勉さんを選任することを市議会に提案、同意



第104号

2017.2.15 発行 (平成29年) ユウパコザクラの会 事務局 〒068-0412 夕張市鹿の谷東丘町3 水尾君尾方 TEL/FAX 0123-52-3306 携 帯 090-8632-8928 E-mail kozakura@m8.dion.ne.jp ホームページ http://yuparikozakura.org/ ようこそ花の夕張岳へ

を得て教育長に就任しました。会は、夕張岳ヒュッテの管理などで市教委とは密接な関係にあり、早くご挨拶にお伺いしようと日程を調整していただき、去る1月24日、藤井代表、水尾事務局長と長谷川ヒュッテ管理運営委員長3人で市教委を訪れ、今教育長にご挨拶することができました。

ヒュッテを学びの場へ

今勉・新夕張市教育長に 表敬ご挨拶 ヒュッテ管理運営委員長 長谷川 雄助

今教育長さんについては、新聞報道でご承知でしょうが、改めて新聞記事の範囲内でお知らせします。出身は、石狩市浜益区。玉川大学を卒業後、稚内商工高校教諭、北広島市教育委員会社会教育主事、礼文高校長などを経て、平成26年夕張高校長に着任され夕張高校の魅力向上に努められました。2年8か月の勤務を経て教育長となつたのです。ご挨拶の中で、藤井代表から、ヒュッテの現状などを説明しましたが、すでにこれまでの経緯などについて十分にご承知のようで、今後ヒュッテ

を活用した教育などについて話しが弾みました。また、今年の早い段階で、夕張岳に登られ、ヒュッテの状況をみたいと話され、会の活動を全面的に支援する姿勢を示されました。会にとっても非常に心強く、また、大きく方向が変化していくことが感じられました。夕張岳という最も魅力のある財産を守りつつ、夕張市の発展や子供たちの教育の場に活用していくことなどに、今教育長とともに進めていく展望が開けたと思います。続いて、鈴木直道市長さん、厚谷司市長さん、厚谷司市議会議長さんにもご挨拶することができ、それぞれ、会の活動に関してご支援をお願いしました。皆様には、河村健会員制作の版画カレンダーをお渡し喜ばれました。



厚谷議長と



鈴木市長と

今後の活動予定

ヒュッテ屋根の雪下ろし

日 時 平成29年2月25日(土) ~26日(日)

夕張岳春山パトロール 兼 スノーモービル痕調査

日 時 平成29年3月11日(土) ~12日(日)

参加希望者は、いずれも藤井代表 又は事務局へ申込みください。



会費の継続納入・ご寄付 ありがとうございます

夕張岳の自然に興味のある方、当会の活動に関心をお持ちの方は、ユウパコザクラの会へ入会又はご寄付をよろしくお願いいたします。

年会費 2,000 円 家族会費 3,000 円 名 義：ユウパコザクラの会 ゆうちょ口座：02780-9-43747

2017(平成29)年度 総会

日 時 2017(平成29)年 5月13日(土) 10時~12時

会 場 夕張市民研修センター (清水沢 宮前町)

「田んぼ de ミュージカル」 上映会予告 入場無料

ここはわれらの天国だ 「紅い花 白い花 咲き乱れ」

穂別のお年寄り映画製作集団「田んぼ de ミュージカル」委員会の第5作目が完成。全国各地で話題沸騰しています。「過疎」「合併」「消滅」とは何か、お年寄り映画集団がいま「ふるさと」を考える上映会を夕張で催します。当日は脚本家斎藤征義氏、俳優の方々との交流会もありますので是非ご来場ください。お待ち致します。

日 時 平成29年5月13日(土) 午後1時30分~3時

場 所 夕張市民研修センター 大会議室

引き継ぎ 夕張岳ヒュッテの維持と炊事棟建設にご支援を!!

平成28年4月~平成29年2月10月末現在 109口 360,665円 ありがとうございます。

炊事棟建設作業は順次進行中ですが、平成29年6月のシーズン開幕時には流し台などの水回り部分が使える様に頑張ってます。資材他諸費用が不足していますので今一度のご支援をよろしくお願いいたします。

名 義：夕張岳ヒュッテ管理運営委員会 ゆうちょ口座：02750-6-97634

寄稿
夕張市教育委員会教育長 今 勉

2016年12月26日に教育委員会へ着任をいたしました。

北海道夕張高等学校校長を最後に、教職生活の多くは高等学校教育に携わってまいりました。行政経験は8年ほどございますが、行政知識はほぼ皆無に等しく、日々悪戦苦闘しております。

2017年1月24日、藤井代表、長谷川ヒュッテ管理運営委員長並びに水尾事務局長に来庁いただき、活動内容と教育委員会への要請等をお聞きいたしました。

活発な活動は、お越しいただいたみなさんの熱い語りから十分察することができ、また夕張をこよなく愛する気持ちも強く伝わってまいりました。

お聞きするところでは、夕張岳は花の百名山、日本二百名山としても知られているようです。夕張市に3年も住んでいながら、情報の疎さを反省するばかりです。

この素晴らしい岳は、日本に留まらず世界の宝であり、関係者に限らずみなさんで守り抜き、美しい姿のまま後世に引き継いでいかなければなりません。

教育委員会といたしましても微力ではございますが、引き続きみなさまとともに夕張岳の自然保護に向け、尽力いたしたいと思っております。

結びに、ユウパニコサクラの会のご発展と会のみなさまのご健勝を心からお祈り申し上げます。



術用語を駆使してのお話しに、講演に続き、恒例となった北大・若手研究者による研究事例発表があった。植物が草食動物から捕食されるため、生き残りをかけた防衛戦略を持つていることを研究したもので、興味深く聞くことができた。(見つけること)

最初に理学部相田大輔さんから「カワフエインレイソウはどこに？」と題して、エンレイソウによるカワフエインレイソウ

きさつなどが発表されました。田葉子さんから「ゴマシジワレモコウの共生関係」に

お礼の挨拶があつてフォーラムを終了した。懇親会も多数参加され、盛会だった。

保護ネット

市民フォーラム開催

ヒュッテ管理運営委員長 長谷川 雄助

昨年11月12日(土)北大地球環境科学D201教室において、北海道高山植物保護ネット主催の2016年度市民フォーラムが開催された。参加者は138名と近年になく多かった(梅沢効果?)。会からは藤井代表、水尾事務局長、杉浦晃介、樋口みな子、長谷川雄助が参加した。長谷川は「昨年、藤井代表から保護ネットの事務局長を引き継ぎ、今回のフォーラムでは司会進行を担当した。」

フォーラムでは主催者の大原雅ネット代表が挨拶して始まり、二つの講演があった。一つは「増毛山道再生10年間の活動と地域遺産活用」と題し、増毛山道の会事務局小杉忠利さんから、増毛山道の歴史と再生事業の苦労話、今後の活用について詳細にわたり話された。

二番目は、梅沢俊さんの「ヒマラヤの花報告2016」である。7月にプータンとネパールにおいて撮影した青いケシなど37枚の写真を、今回はプロジェクトエクスターを使って上映し、軽妙かつ学



梅沢 俊氏

2010(平成22)年から始まった、エゾシカから高山植物を保護する方策の調査研究活動も今年度で7年目となりますが、引き続き簡易防鹿柵を4基設置しました。今年度も土砂降りの雨の中での調査となり、雨男疑惑が急浮上中です。柵の設置場所は昨年度と同一地点の第二崩壊地のユウバリソウ群落、エゾコウボウ群落、タカネヒメスゲ群落にそれぞれ1基、アサツキ湿原のイワイチョウ群落に1基の合計4基です。そのなかでもアサツキ湿原の設置地点では、簡易防鹿柵内と柵外の対照区のイワイチョウの生育高を比較すると、対照区の生育高が低く、矮性化していることが明らかになりました。エゾシカによる影響で種組成に変化が出たことはもとより、簡易防鹿柵内のイワイチョウは旺盛に生育していたこと

柵の有効性明らか

エゾシカ対策継続中 会員 杉浦 晃介

から、柵の有効性が明らかになったことは嬉しい結果です。しかし現在は柵の数も少なく、範囲も小さいです。今後は継続して設置することと新たに設置する箇所を設けるなど新しいアクションを起こしていきたいと検討しています。

簡易防鹿柵のほか、今年度も高山帯における野生動物の生息実態を記録するための自動撮影カメラを設置しました。撮影されたデータを確認すると、エゾシカのほか、ヒグマ、エゾユキウサギが撮影されていました。エゾシカは仔鹿を伴う群れや立派な角を持つ雄鹿が撮影されており、相変わらず積雪前まで高山帯に居座っている様子がわかりました。



前岳湿原にてエゾシカ

アサツキ湿原の簡易防鹿柵を触るエゾシカ

エゾシカの親子連れ。第二崩壊地にて。



第二崩壊地の簡易防鹿柵

モニタリング調査の様子

簡易防鹿柵設置の様子

会のうごき

- 9月
 - 3~4日 ヒュッテ炊事棟建設作業 10名 延15名
 - 4日 第4回森林パトロール コースロープ撤収 5名
 - 10~11日 ヒュッテ炊事棟建設作業 3名 延6名
 - 16日 コザクラだより103号発行
 - 17~19日 ヒュッテ炊事棟建設作業 3名 延9名
 - 18~19日 北海道自然保護連合交流会 当麻町 出席5団体 当会2名
 - 22日 ヒュッテ炊事棟建設作業 5名
 - 24~25日 エゾシカ調査 3名 延6名 及び 炊事棟の建設 4名 延8名
- 10月
 - 9月30~10月1日 登山道整備 3名 延7名
 - 1~2日 ヒュッテ終い 8名 延15名
 - 15日 ヒュッテ終い(再) 8名
- 11月
 - 2日 石狩空知流域の地域管理経営計画等の策定に関する地元意見交換会 出席 1名
 - 道森林管理局、空知森林管理署主催 岩見沢文化センター「夕張岳の林道整備等」について要望す
 - 12日 高山植物保護ネット市民フォーラム 5名
- 12月
 - 25日 役員会議 6名
- 1月
 - 6日 夕張市商工会議所 新年交礼会(ゆうばりホテルシューパロ)出席 1名
 - 10日 文藝春秋 2月号 ルポ「地方は消滅しない」で当会の設立経緯等が掲載。
 - 21~22日 ヒュッテパトロール 3名 延6名
 - 24日 今 勉 新教育長 鈴木市長、厚谷議長訪問 3名
 - 28日 石城謙吉先生講演集出版記念会(北区ワインバー オステリア)出席 3名
 - 28及び31日 30周年記念誌執筆依頼文発送
- 2月
 - 5日 30周年記念誌編集会議 8名
 - 9日 30周年記念誌編集会議 小野幌会館 佐藤謙他 7名

文藝春秋2月号

4頁の(7頁参照)について、
 文藝春秋平成29年2月号で380頁から5頁に亘って掲載された、地方自治ジャーナリスト 葉上太郎氏による、ルポ「地方は消滅しない」シリーズ⑥北海道夕張市と題する記事です。
 葉上氏は、会のHPから過去数年の「コザクラだより」をコピーして持参され、事務局長は2日間14時間余に亘って取材された。
 「花の夕張岳を「破綻」から守れ」という表題で、降りしきる雪の向うに、炭鉱の立坑櫓を模したタワーが見えた。と始まって夕張市が財政破綻に至った経緯、次いで、もともと膨らむ恐れのある借金が市民団体のおかげで避けられた歴史があることは、あまり知られていない。しかもこの団体は、本来なら市が行うべき施設の建て替えや管理運営まで行っているのだ。と1頁目が終わる。
 その団体は当会だと2頁目冒頭で明かされて会設立の顛末が3頁目の終わりまで記載される。
 4頁はへ市営ヒュッテを市民が立て直すの表題でヒュッテ建て替えの顛末が5頁目前半まで書かれています。



2016(平成28)年 夕張岳パトロール実績

高山植物盗掘防止パトロール(北海道と協定)

単位:人

	6月	7月	8月	9月	10月	合計
高山植物パトロール エゾシカ モニタリング	12	14	7	16	0	49
官民合同 パトロール	14	6	0	0	0	20
合計	26	20	7	16	0	69

森林パトロール(森林管理署と協定)

単位:人

	6月	7月	8月	9月	10月	合計
森林パトロール 清掃 登山道 整備	12	5	3	10	0	30
登山道 作業道 整備	10	5	8	6	4	33
合計	22	10	11	16	4	63

ヒュッテのトイレ改良を計画しています。

会員 菊地 宏治

現在の夕張岳ヒュッテのトイレは洋式&和式各1室ずつと男性小便専用の便器が備わっています。いずれも改装に改装を重ねて現在に至っています。予算が無い中なので、改装と言っても壁紙を張ったりして少しでもきれいに見せるためにいじっているレベルです。

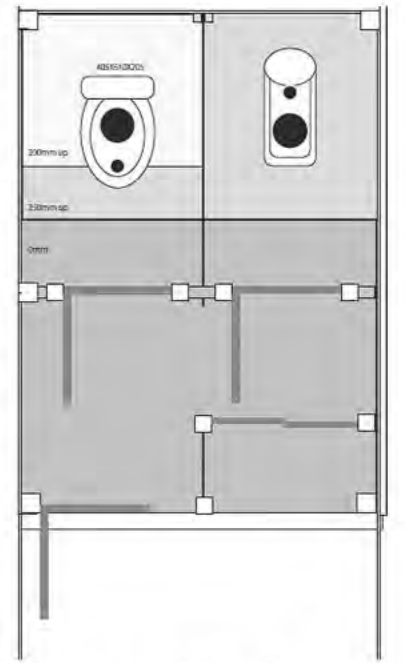
私は本州も含めてあちこちの山小屋を利用しましたが、管理がしっかりしていておカネもかからないところがあり、それぞれみると印象が違います。夕張も、おカネは沢山かけら利用者にも快適に使ってもらいました。

トイレ問題は、特に女性事だと認識しています。折トイレがイマイチだと全せん。

現在、今年夏前の完成徐々に改装を手掛けていますが、今までは母屋から来ましたから、母屋が消灯に参となっていました。そこ験運用してみました。明ると確信しました。

にとっては大きな関心角ヒュッテが快適でも体の印象に響きかねません。

を目標に、昨年からです。まずは夜間照明引いた100Vを使ってるとトイレの照明も消えてしまうのでヘッドランプ持で、昨年夏にトイレ専用のソーラーパネル蓄電方式を試さ心が配されましたが十分の照度があり、効果は「あり」



予定平面図

レイアウトも思い切った変更をします。(予定平面図)洋式&和式各1室ずつは変わりませんが2室横並びにします。バッテリーや清掃用具や消耗品を置くスペースを新規に作ります。便器は今まで通りの「固液分離型」方式として大便と小便各々別のタンクに貯留するのは今まで通りです。洋式便座については今回新調予定です。また夫々の個室のドアも鍵付きノブのついたものを既に手造りしました。

一番期待しているのはバイオ効果です。一時期上手くいっていたと思えたもみ殻による簡易バイオですが、最近水分の増加が目立ってバクテリアの活性が低いように見えていました。今回今一度、菌床となる部分を見直して、そば殻90%+おが粉(粉状木屑)10%+攪拌の方式で運用してみようと計画しています。この配分は某バイオトイレメーカーと某大学が共同研究した結果、一番バクテリアが活性しやすい配合との事です。昨秋のヒュッテ終い時点では概ね5割くらいは完成していますので、雪解けから急ピッチで運用開始に向けて作業したいと思います。

石城謙吉先生出版記念会に出席して想い出したこと

事務局長 水尾 君尾

遡ること28年前の12月初めに催した、一泊二日の「あすの夕張と自然を考えるシンポジウム」は、決して公共交通機関の便がよいとは言えない夕張市に24市町村から235名もの人々が会場を埋めるといふ今では考えられない大きな催しでした。
 講師の石城先生は夕張岳開発の難題に終始たおやかな笑顔で開発側、市民側に示唆に富むお話をしてくださった事、深く心を打たれたあの頃を想い胸が熱くなりました。



28年前のポスター